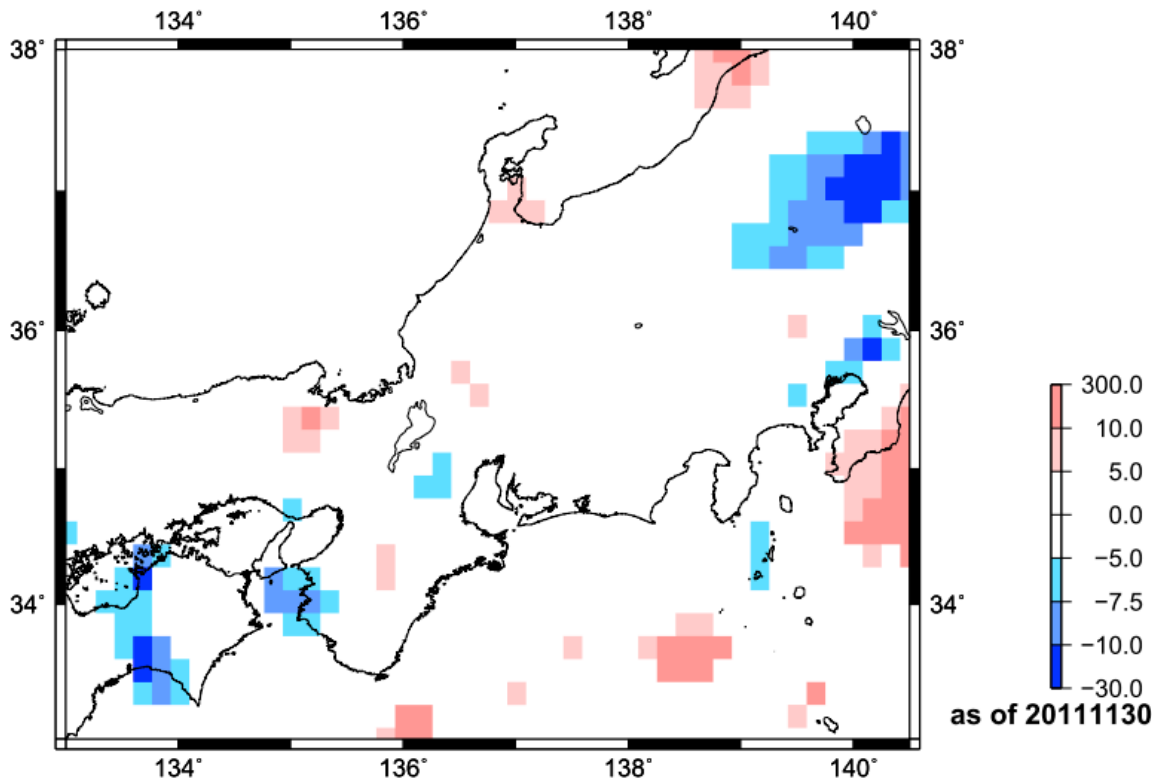


最近の地震活動の評価

下の図は2011年11月30日までのデータを使用したRTM法による地下天気図®です。東日本大震災の影響が大きく、本格的な解析が非常に難しい状態ですが、福島県・白河市を中心とした領域で地震活動の静穏化現象（図中でブルーの領域）が進んでいます（現在進行形）。

また紀伊半島・和歌山県を中心とした地域の静穏化が少し目立ちます。四国の静穏化はもともと地震活動が低調な所のため、和歌山県のブルーの領域より心配ありません。

総合的には、現時点で下記の図の領域では緊急性の高い領域は存在しないと判断できます。



ただ、この図では示されていませんが、愛知県下では少し地震発生の様式が変わってきており、11月の東海地震の定例判定会ではこの事が少し話題として取り上げられました。今後さらに解析を進める必要があると考えています。